

“AIDAプラン523”

# 中期経営計画

2017-2019年度

AIDA新世紀に向けた新たな挑戦

2017年5月25日

アイダエンジニアリング株式会社

## 新中期経営計画 AIDA新世紀に向けた新たな挑戦

### 【企業理念】

成形システムビルダとして発展し、人と社会に貢献する。

### 【ビジョン】

環境・省エネ・技術を支えるグローバル先進企業として深化する。

### 【基本ポリシー】

当社グループを支えていただいている全ての方々とベクトルを合わせ、共に成長し続ける。

# AIDAを取り巻く環境

## 自動車市場

- グローバルで新車販売台数は緩やかに成長
- 先進国に替わり新興国が成長牽引

## 顧客動向

- 自動車の電動化・軽量化加速
- プレスシステムの自動化進行
- 自動車部品サプライヤー巨大化
- 新興国ユーザーの台頭

## 競合

- グローバルベースで競争激化
- 欧米勢は欧米仕様自動機に強み、中国市場でシェアを拡大中
- 新興国勢は価格競争力優位、サーボ技術も向上

AIDA

## 調達面

- 外注自動機メーカーの優位性高まる
- 鋼板等の材料価格上昇

## AIDAの強み

### 技術

- サーボプレスの優位性
- 総合エンジニアリング力
- 豊富なプレス機ラインナップ

### 生産

- 世界5極での最適地生産
- 5極による共同生産体制

### 販売

- 19ヶ国に跨るネットワーク
- 欧州顧客へのチャネル

### サービス

- 長年のプレス機納入実績
- グローバルサービス体制

### 管理

- 強固な財務基盤
- グローバルでの機動的な資金運営

## AIDAの課題

- 製品の標準化
- 制御/自動機等のシステム開発力
- 欧州仕様への対応力

- 部品の標準化
- 海外拠点の内製化拡大と品質向上

- 技術営業力・提案力の強化
- 非日系顧客の開拓

- 近代化・予防保全対応の強化
- サービス人財強化

- グローバルガバナンス体制強化
- ERPのグローバル展開
- グローバル人財育成

## 新中期経営計画 実現に向けて

前中期経営計画における課題や環境変化を踏まえ、「AIDA新世紀に向けた新たな挑戦」をスローガンに新中期経営計画を推進

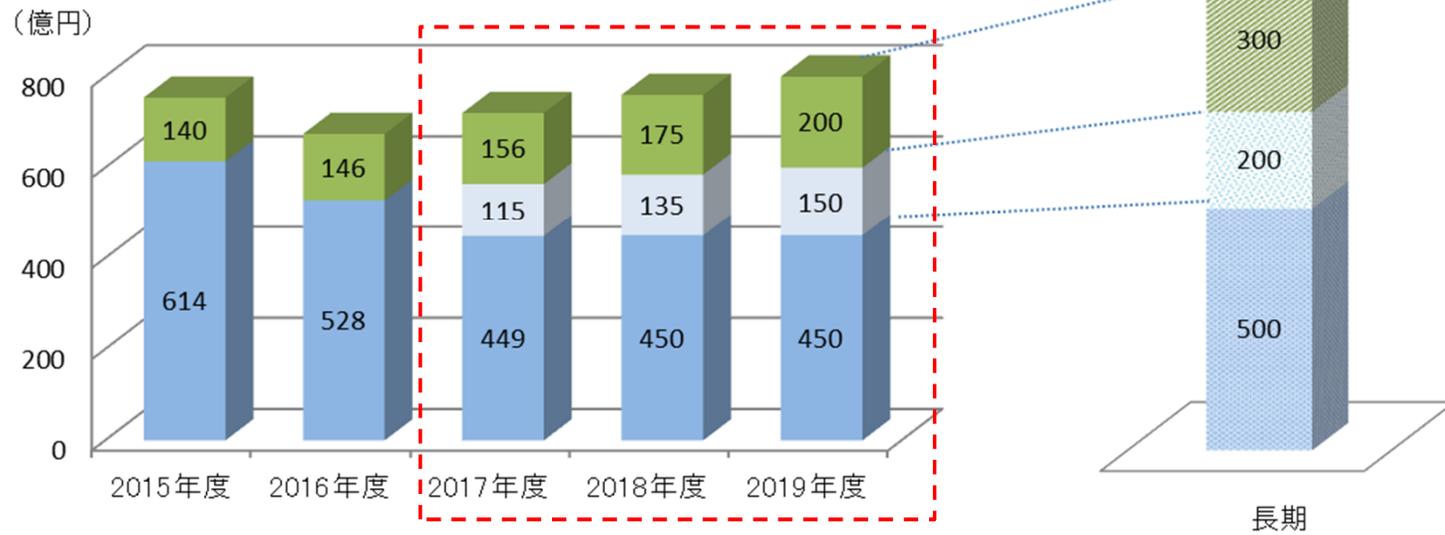
持続的成長に向けた施策の展開

・重点施策：

- 1) 市場・顧客開拓
- 2) 商品競争力向上
- 3) 重点事業強化
- 4) グローバル業務体制高度化
- 5) 人財育成・開発
- 6) 成長基盤構築(研究開発強化、成長投資継続)

# 新中期経営計画 数値目標 “AIDAプラン523”

## 売上目標 800億円 / 2019年度



長期的な目標は  
売上1,000億円

内訳比率は、

プレス = 5  
自動機 (FA) = 2  
サービス = 3

成長分野・高  
収益分野を強  
化し収益構造  
の転換を図る

(億円)

	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
	金額	%								
プレス	614	81%	528	78%	449	62%	450	59%	450	56%
自動機 (FA)	140	19%	146	22%	115	16%	135	18%	150	19%
サービス	140	19%	146	22%	156	22%	175	23%	200	25%
合計	755	-	675	-	720	-	760	-	800	-

# 中期経営計画 重点施策

## 市場・顧客開拓

### グローバル顧客開拓 (アイダブランド力向上)

- 欧州/新興国市場深耕
- メガサプライヤー取引拡大

↑  
グローバルセールス体制強化  
欧州仕様対応力強化

### テクニカルマーケティング強化

- 重要顧客対応強化
- 技術提案力強化
- ドイツテクノロジーセンター活用

## 商品競争力向上

### プレスのサーボ化推進

- サーボプレス機能向上
- 商品ラインナップ拡充
- サーボ化営業戦略展開

### プレス機の標準化

⇒短納期化、調達・サービスのグローバル化実現

### 新素材対応強化

- ハイテン、アルミ、その他新素材に対応

## 重点事業強化

### 自動機(FA)事業

- 自動機(FA)開発力強化  
⇒ システム提案力向上
- 自動機(FA)サプライヤー連携強化 ⇒ 販路拡大
- 多角化・新規事業の模索

### サービス事業

- 経営資源の積極投下
- 近代化ビジネス拡大
- 予防保全対応強化

# 中期経営計画 重点施策

## グローバル業務体制 高度化

### 共同生産体制高度化

- 内製化向上・現地生産拡大
  - 生産分業の一層の推進
  - ユニット生産高度化
- ⇒ 更なる工期短縮/コスト削減

### グローバルガバナンス強化

- ERPシステムグローバル展開
- グローバル運営体制構築  
(受注管理、工番体系、  
図面体系、組織/人事管理等)
- 海外拠点監査体制強化

## 人財育成・開発

### グローバル人財育成

- 海外勤務ローテーション  
推進
- 海外現地社員研修強化

### 戦略的人財ローテーション

- ジョブローテーションによる  
中長期での人財育成
- 事業戦略に沿った弾力的  
リソース配分

## 成長基盤構築

### 研究開発

- サーボシステム進化
  - 新素材成形システム開発
- ⇒ 売上の2%を目途に投資

### 成長投資

- 設備投資・合理化投資  
(内製化・生産性向上等)
- ⇒ 売上の5%を目途に投資
- 新規事業投資(欧州事業  
拡大、自動機事業拡大)

# 中期経営計画 基本戦略 【経営目標】

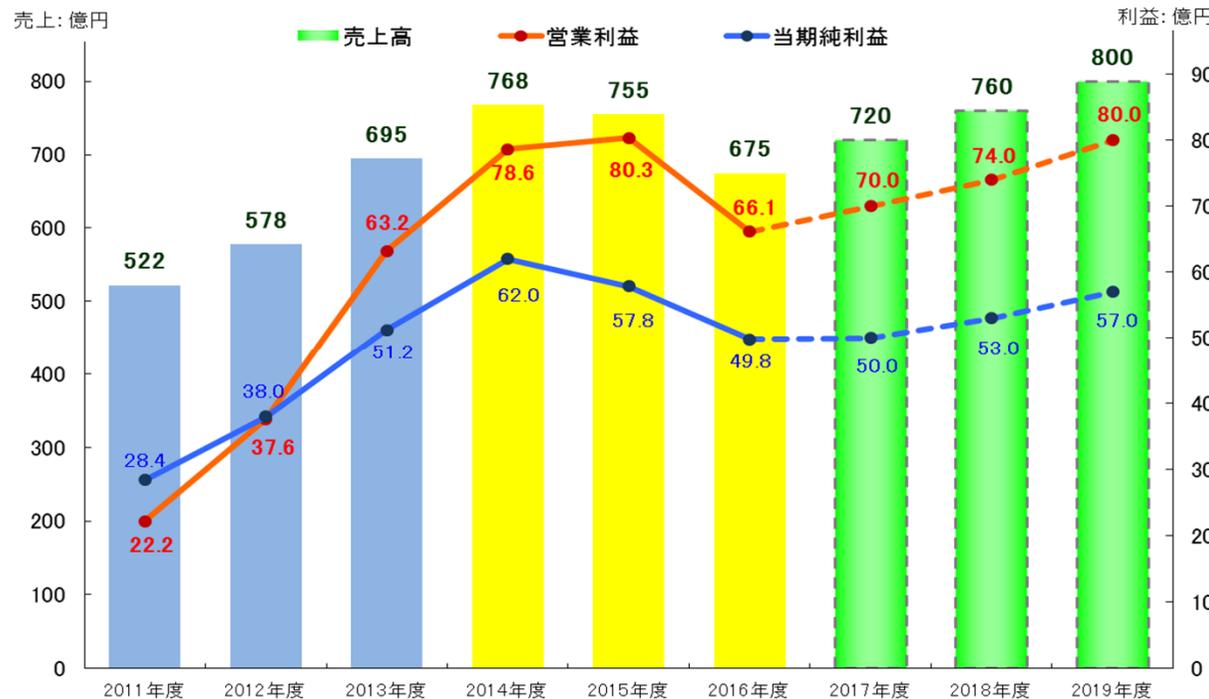
2011-2013年度  
グローバル企業  
としての持続的成長

2014-2016年度  
AIDA100周年を  
見据えた  
成長基盤構築

2017-2019年度  
AIDA新世紀に向  
けた新たな挑戦

売上1000億円

サーボプレス  
No1を目指す



## 【業績目標】

### 売上高(成長性):

安定成長を基本路線とし、売上高過去最高を目指す。

### 営業利益(収益性):

安定的に10%以上の営業利益率を目指す。

## 中期経営計画【株主還元】

### 利益分配に関する基本方針

経営基盤の安定性確保と、将来の成長投資のための内部留保維持を考慮しつつ、連結配当性向30%以上を目指し、安定配当を継続することを基本方針とする。

## 当資料取り扱い上の注意点

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績予想・計画・見通しなどは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。記載の予想・計画・見通しなどには仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては、想定された事実や根拠は実際の結果と異なる場合があります。

当社または当社の経営者は、将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令などに別途定めがある場合を除き、当社はいかなる将来の見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

2017年5月

アイダエンジニアリング株式会社

代表取締役社長 会田 仁一